

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 会議名 | 第4回 学校運営協議会 |
| 2 | 日時 | 令和2年12月21日 午後5時45分から午後7時15分まで |
| 3 | 会場 | 浦里小学校 校長室 |
| 4 | 出席者 | 井澤良夫会長、田村実英副会長、安齋理江委員、杉村晴彦委員
齋藤惇委員、大井正一郎委員、平林千春委員、片桐芳之委員 |
| 5 | 市側出席者 | なし |
| 6 | 公開・非公開等の別 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開 |
| 7 | 傍聴者 | なし |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 令和2年12月25日 |

協議事項等

- 1 開 会
- 2 井澤良夫会長挨拶
- 3 学校長挨拶
- 4 協議

(1) 子どもたちの様子について (運動会・なかよし参観、マラソン大会頭の児童の様子)

学校長：資料の1ページ目から5ページ目まで運動会のアンケートの集計。お気づきの点や感想ということで記入していただいた。例年より半日ということで種目も精選したが、保護者や地域の方からいい運動会だったとたくさん出された。子どもたちの自主性が係活動で見られたということも書かれていた。P2の上から11番目の保護者や地域が参加する競技が今年ではできなかったことに関わって、PTAの種目があってそれを子どもたちが応援する場もあるといいなという意見やみんなでお弁当を食べる時間もあった方がいいという意見もある。その反面、保護者としては楽ができて良かったという意見もあった。運動会については、地域との合同運動会ということで意見交換会を設けてきたが、コロナによって立ち消えてしまったので、地域との合同運動会という可能性をコロナの中でどのように考えていけばいいのかというご意見をいただきたい。P3の下から5つめに学校運営協議会の方に受付をやっていたが「コロナ対策として検温と名前と健康チェックだけだったが何かあったときのために名前、住所、電話、関係者まで書いてもらった方がいいと思いました。」という意見が保護者の方からあった。担当された方、もし何かあればご意見あればと思う。p4、上から2つめ、浦里小学校は例年一人一人マイクを使って決意を述べて始めているが、今年は時間的なものや、マイクを回していくということはコロナに関してよろしくないのではということで、担任が名前を呼んで子どもは手を上げて返事をするという形で子どもたちの紹介をした。従来の形、コロナの状況によっては一人一人の決意を届けることはできるかと思う。PTA種目がなくなったのがとても良かったというのがあった。子どもたちのいい写真を撮ってあげることにも専念できたと言うことかなと思う。P4の下から3つ目、お弁当がなくて物足りなかったと子どもは言っていたが、親は半日開催で楽でしたということだった。やっぱり半々に分かれるのかなという感じがする。最後の所、保護者席の看板の設置の仕方で混乱というか分かりづらかったということがあるようなので、来年度、準備のところで整えていきたいと思う。運動会については以上である。P6からP9まで音楽会のアンケートの集計結果。令和元年から令和2年の訂正。数値的なもので言うと「楽しく一生懸命演奏していましたか。」というのが今年度、保護者の皆様そう思ったということで100%になっている。曲の選定なども昨年度に比べて良いと評価して下さった方が多い。下から2つ目の自分の演奏を完成させ

るために家でも目標を持って練習に取り組んでいましたか、というところは昨年度よりも数値は減っている。今年度は時間的なものも、普段の授業でやりましょうということで先生方をお願いしてきた。そのためお家での練習というのもそこまで一生懸命になれなかったのかなと思う。P8P9は感想についてのコメント。「1年生の一人歌い、独唱、とても感動した。成長が見えて親として嬉しかった。」ということが書かれている。2年生もいろんな工夫した曲が演奏されて、とても楽しい気持ちになったというようなこと、とても嬉しいです。連学年で今年発表と言うことで、1、2年、3、4年、5、6年で発表という形をとったが、むしろ連学年にした方が厚みが出て良かったという感想をいただいた。P8の一番下の所、今年度地域の方に来ていただくことは出来なかったが、保護者や子どもたちからコロナ対策としては少し密だったと思うという意見があった。人数的には精一杯だったと思う。場所的にも、体育館からすると精一杯だった。資料はないがマラソン大会も予定どおり実施した。今年は10秒ごとに一人ずつ時間差を付けてスタートした。子どもたちは自分の記録に挑戦するというかたちで上級生はやった。マラソンも応援する保護者や見守り隊も方と交通安全協会の皆様方に要所要所に立っていただき見ていただいた。お気づきの点があれば出していただければと思う。

委員：曲の題名、歌詞の内容について学校で何か指導しているのか。

学校長：限られた時間の中で必要に応じて歌詞の意味を扱った所もある。深めるということは時間に限りがある。

委員：力がつく部分があると思うので可能であれば伝えていただければと思う。

委員：運動会の新型コロナウイルス感染症の対処法として事前に運動会開催通知に名前、住所、電話番号など記入していただくことを伝えた方が良かったのでは。

学校長：普段から徹底していく。

委員：子どもたちに接する人を全て特定しないといけないのであれば全部書かないといけないと思う。難しいが

学校長：今回は検温して名前を書いてもらって健康状態を聞いた。

委員：地域の話だからその程度でいいかと思う。来年の課題である。

学校長：3学期もふるさと学習発表会が体育館であるのでどんな形で開催するかのか、地域の方を呼ぶのであれば屋内であるので検討している。

委員：開催時期の感染状況が予測できない。その時決定していくのでいいのでは。

学校長：ご意見を生かして事前に知らせていくことや、連絡先等を教えていただけていく。

委員：音楽会なのですが地域の人も楽しみにしていたので残念だった。地域の人も行事を楽しみにしているので運営していければと思う。

委員：運動会についてUCVを見たが非常に良かったと思う。構成の仕方もいろいろな形で今までの運動会と違った形で対応をしていて良かったと感じている。

委員：音楽会について密だったというご意見があったということだったが、他の学校の音楽会を見ても同じような感じだった。もっと感染対策が必要。

学校長：ふるさと学習発表会は地域の方やお助け隊の方が関わっていただいているのでぜひ参加していただければと思う。それをどのように開催するかまた考えていく。例えば2段階にして子どもだけで発表して1段階、次は地域の方、保護者の方を集めて、その時は子どもも入れ替わり立ち替わりで発表したら教室に帰るという形でやる。子どもたちも見合うことができるしリハーサルにもなると思うし、地域の方にも保護者の方にも見ていただける。このような方法も考えている。

(2) コロナ禍における学校運営について

学校長：近隣の学校や園で集団発生が起こったが、本校の関係では陽性者はいない。ですが地域を含めてコロナに対する心配する気持ちがすごく大きくなっているかなと思う。感染源が分からずに増えている状況にはなっていないかと思う。今後の状況によっては気が抜けない状況だと思う。お助け隊に関わってこのような状況なので先週から教科支援ボランティア

の活動を一時休止をしている。学習支援ボランティアの丸付けやそろばん、英語についてはストップをかけている。習字については冬休み中の書き初めの課題があったので来ていただいた。ふるさと学習発表会にも絡んでいるが、その後のコミュニティ委員会、一回目も隊長会ということで開催させていただいたが、コミュニティ委員会の開催について3学期になってからどういう状況になっているかということで判断していきたいと思う。学校行事に関わって、3学期スタートしてすぐの2週目にわら馬作りが入っているがこの実施判断は1月8日にさせていただく。当初は4、5、6年生の3学年が取り組む予定だったが、やるとしても6年生のみで今年度は行うこととする。2つ目として、百人一首大会は今年度は大会という形では実施せず、授業の中で百人一首を扱っていく。一同に集まるということで、中止ということを学校で決めた。次年度に向けて音楽会、運動会、マラソン大会、その他学校の行事、ふるさと学習の進め方について職員と検討している。まとめ次第、学校運営協議会にお伝えする。ふるさと学習を子どもたちの追究する学びの場にするにはどうすればいいのか、ただ体験活動をするということではなく、子どもの疑問、観察、そういった中から「どうして」「不思議だな」からスタートして実物を見たり、栽培に積極的に関わっていける、そんな学習になっていくようにするにはどうしたらいいかというところで検討している。また、お助け隊の方、野菜作り隊の方、米作り隊の方に理解していただいて、子どもたちのふるさと学習がより深まるように検討していく。

委員：現在の給食は通常に戻ったか。

学校長：先週の木金と主食と牛乳のみ、副菜は家から持ってきた。金曜日は主食のパンと牛乳だけ出しておかずは持参した。今日は主食も含めてお弁当持参だった。明日から給食は再開する。通知も配られた。子どもたちにとってはコロナの感染がこういう所で影響して、こんな影響が出てくるんだということが実感でき、給食のありがたさ等感じる事ができたと思う。

委員：付近でコロナウイルス陽性者が出た場合、浦里小学校の子どもたちの習い事だとかで濃厚接触者だった場合はその学年だけ学年閉鎖になるのか。

学校長：濃厚接触者あるいは接触者として指定された場合、その児童は自宅待機になり、その児童の結果によって、陽性だった場合クラスの方の濃厚接触者、接触者はどこまでいるか調べる。濃厚接触者となった時点では学年閉鎖にはしない。あくまでも陽性反応を見てから。

(3) 今年度の「ふるさと学習発表会」のあり方について

学校長：さきほど話題になったようにその方向で3学期状況を見ながら開催する。ふるさと学習発表会はできれば地域の方にも参加していただきたいというスタンスで行きたい。

(4) 学校運営協議会委員の選出について

学校長：任期が1年ということで、引き続き継続して次年度も委員を引き受けていただける方は継続でお願いしたい。PTAの関係は変わっていくことになるが、地域の方については継続していただければ有難い。次年度は他の方に引き継ぐという場合は、情報をいただきたい。

(5) 来年度のコミュニティ・スクールの方向について

学校長：今年度は特別な1年だった。来年も引き続きこの状況が続くと思う。先の状況が見えないので、来年度に向けて浦里小学校のコミュニティ・スクールとしての方向について自由に意見や課題を出していただきたい。

委員：お助け隊の若い世代、70代前半の方たちなど探していかないといけない。

- 委員：保護者はなかなか仕事の時間帯なので厳しい。
- 委員：保護者の一人一つお助け隊はまだ実現できていないのか。
- 委員：感覚が変わってきていて「保護者は入らないといけないのか、強制なのか。」と聞かれる。どうやって理解を深めればいいのか。
- 委員：いろんな分野があるから、自分の得意なできそうな隊に入ってもらって、地域の人と親と一緒に子供に関わる。とてもいいことだと思う。親は親で参観日の時、親子の活動があり、地域は地域で活動している。お互い地域の人はどうに関わっているか、今時の親御さんはこんな感じというのを思いながらうまく活動したい。
- 委員：保護者もお助け隊入っていただいてもその活動を見る機会がなく、参観日の時にそういった行事が入ると「こういうことならできるかも。」と提供いただけるかもしれない。
- 委員：お助け隊の若返りとPTAの参加が課題に感じる。
- 委員：遠足一緒に行き隊は、特にPTAの人たちに違う学年に参加してもらった方がいいかもしれない。現在70～80歳近い人で構成されていて、引退を考えている人がいる。
- 委員：遠足だったら年1回だから参加しやすいかもしれない。
- 学校長：今年は遠足ができなかったが、去年はPTAにも参加してもらった。
- 委員：親子遠足みたいになってしまうかもしれないが、それもいいかと思う。
- 委員：高齢化を見据えていかないとコミュニティ・スクールが維持できなくなるかもしれない。南団地はお助け隊のことを知らない。なんとかPTAを集めていく方がいいかもしれない。土日はどうか。
- 委員：人による。
- 学校長：延べ人数だと多いが実際に活動されている方は少ない。PTA総会などといった場で打ち出していないといけないかもしれない。
- 委員：高齢化という大きな課題がある。

(6) 学校運営協議会による浦里小学校評価について

学校長：この内容については次回に回させてもらう。学校自己評価をもとに評価してもらうという形にする。

(7) その他

- 学校長：4年担任が12月20日から2月14日まで療養休暇を取ることになる。2学期期末まで教頭が4年の学級指導にあたる。3学期からは、代替の先生をお願いする予定でいる。コロナ禍ということで学校の職員の負担を少しでも減らすように国の方で予算を組み、浦里小もスクールサポートスタッフを3名お願いしている。2名の方には、毎日子どもたちが帰った後のトイレや体育館の消毒作業をしていただいている。それから、もう1名は午前中、主に印刷をすることや掲示物を作るという形で来ていただいている。大変有難く感じている。浦里小学校の150周年記念が2022年、再来年、令和4年にある。そちらの準備、放送をしていかなければならないという状況で、学校運営協議会の方にもお知恵をいただき、今までの経験等から協力いただきたい。まずは実行委員長だとか組織をどのように作っていくか、150周年記念としてどんな行事を作るのか、実行委員会の中で作っていくということになる。近々相談をしながら準備に取りかかっていたい。
- 委員：先日、メディアコントロール、あいさつ運動を2学期に行った。こういった時期なのでなかなか外に出かける機会も少なく、ユーチューブを見る時間が増えたということもあるが、松ぼっくり探ししたり、百人一首を覚えたとか、季節ならではの遊びを家庭でやっていただいたかなと思っている。この間も5年生がメディアの授業を受けた。子どもたちの環境が変わっていく中で、非接触の時代だからこそ「あつまれ動物の森」が流行ったのかなと思う。友だちの家に行かなくてもオンラインゲームの約束を学校ですて、それまでに

宿題をやって、お風呂入って、ご飯食べてということで遊んでいる。ゲームで一日何分以内と設定はしているが、あっという間に時間が過ぎて、付き合い方が日々難しくなっているなど感じる。学校でもメディアの付き合い方について取り上げていただきたい。コロナのこともあって中学の給食費が、来年度から毎月手集金から引き落としへの変更が決定した。持たせ忘れたとか、引き落としになれば負担が減るかなと思う。もしそういうことが可能であれば、前例の六中のようにしてもいいかなと思う。給食費とまた別の日程で、学級の集金を引き落とすことも決定した。親としたら、少しでも楽できるかなと思う。ご検討をお願いしたい。

学校長：先日出したお便りの裏にハンカチの話題を記載したが、川西まち作り委員会の子育て教育部会からの素敵なものであり、配布をした。

5 閉会の言葉

今回は第5回 2月12日（金） 開始時刻は午後5時45分